

## 湘南家畜保健衛生所

平塚市寺田縄345



豆記者の第2回は、湘南家畜保健衛生所を見学しました。

場所は、寺田縄地域の西に位置して、寺田縄から飯島へ通じる「平塚市幹道寺田縄飯島線」沿いにあります。静かな雰囲気建物で、どのような仕事をしているのか分かりませんでした。

今回は金田小学校6年生の高橋真子さん、5年生の石原彩弥さん、同じく杉村汐菜さん、2年生の杉村日和梨さんの4人が見学しましたので、その報告をいたします。



神奈川県立の施設です。県の旗が青空に翻っています。

「あさつゆ広場」へ向かって左側の道路沿いにあります。この通りは金旭中学校の通学路になっていて、歩道には毎日中学生が行き来しています。

建物は昭和47年5月に新築され、この地で仕事が始まりました。





「湘南家畜保健衛生所」の名前にある『家畜』とは、主に「牛」、「馬」、「豚」、「鶏」、「山羊」、「ミツバチ」のことで、野生の動物は含まれていません。

<四人は、履物を整頓して入りました>



① どのような仕事をしているか教わりました。

私たちは、スーパーマーケットで牛肉、豚肉、卵などを買ってきて、家で調理してもらい、美味しいおかずとして食べています。いつもおいしく食べるには、病気にかかっていない安全なお肉や卵でなければなりません。

また、私たちは、牛乳、ヨーグルト、ソーセージ、などの加工品も食べています。大事な栄養源のたんぱく質は家畜からとっています。

「湘南家畜保健衛生所」の案内には、『家畜の病気を防ぎ、安心・安全な畜産物を生産するため、畜産農家に対する衛生指導や家畜の検査を行っている』（湘南家畜保健衛生所要覧より）とあります。家畜も人と同じように病気になります。家畜は農家で飼われています。その農家を「畜産農家」といいます。

仕事の内容は、家畜を病気にさせないように畜産農家を回って衛生指導をし、あわせて、家畜が病気になっていないか、特に伝染病の予防や検査をします。

職員は17人、1人を除いて「獣医師」の資格を持っています。犬や猫のようなペットの仕事はしていません。



死んでしまう病気があります。 <杉村・日>

ここと同じ仕事をする所は、「県家畜保健衛生所」が海老名市にあり、神奈川県内に2か所です。

「湘南家畜保健衛生所」が仕事をする畜産農家の範囲は、7つの市と11の町、藤沢市から神奈川県西部の箱根町、湯河原町にまで及ぶ広い所です。

## ② 家畜の主な病気

家畜は健康でおいしい食肉を私たちにもたらししてくれるとは限りません。人と同じように病気もします。時には、重い伝染病にもかかります。

牛の採血：しっぽを持ち上げ、付け根から血を採ります。 <高橋>

### ア、牛の病気

#### ● 口蹄疫（コウテイエキ）：

牛だけでなく豚、山羊などもこの病気にかかります。

病状は、発熱や、口の中や足の蹄（ヒズメ）の付け根に「水ぶくれ」ができます。この病気にかかると子牛や子豚は死んでしまうことがあります。伝染力の強いウィルスが原因しています。

人には感染しません。

#### ● BSE <牛海綿状脳症（ウシ カイメンジョウ ノウショウ）>：

異常プリオンという病原体に感染した牛は、脳の組織がスポンジのようになり、おかしい行動をし、運動失調となります。最後には死んでしまいます。

原因は、感染した牛の脳や脊髄（セキズイ）を含んだ肉骨粉（ニクコップン）が混ぜられた餌を食べることで発病します。感染した牛の畜産物を食べると人にも感染するとされています。

日本でのBSE対策は、現在、畜産農家の4歳以上の牛が死んだ場合、BSEに感染していないか全頭について検査し、清浄国であることを確認しています。もちろん、死亡した牛が牛肉として売られることはありません。また、牛の餌に含める肉骨粉は使用が禁止され、厳しい餌の管理がされています。

日本での対策が進み、平成15年以降に生まれた牛からBSEは確認されていません。

一部の牛肉はアメリカやオーストラリアなどから輸入されています。BSE対策として輸出国での検査が行われ、発病の危険がないように努められています。

#### ● ヨーネ病：

ヨーネ菌の感染により発病し慢性的な下痢を患い、病気になると1年以内に死亡します。2年に1回検査し発生を予防しています。

#### ◇ 牛の病気を防ぐために：

右に記す「牛の検査・注射・投薬などの証明手帳」があります。人の健康手帳のような役割を持ち、牛一頭ごとの識別番号、生年月日、出生地、所有者などが書かれ、検査などを受けるたびに証明印が押されます。

これによって、牛が健康であることの証明が記録されていきます。



## イ、豚の病気

### ● オーエスキー病：

ウイルス感染で発病し、新生豚は発病率が高く、妊娠豚は流産がみられます。県内では年に2回のチェックにより発生は抑えられています。

豚の採血：首やしっぽを持ち上げ血を採ります。

<石原>

## ウ、鶏の病気

### ● 鳥インフルエンザ：

罹患した鶏が発見された養鶏場で大量の殺処分が行われたニュースが報道されました。

にんげんにもうつるから、とりのびょうきの中で、一ばんこわい。

<杉村・日>

ウイルスにより感染し、伝染性が非常に強く死ぬことが多い大変重大な病気です。感染した鶏

のふんなどから広がり、人・車・ものにウイルスが付着して広がります。大規模な養鶏場では感染防止が追い付かなくなることがあり、万を超える数の鶏を殺処分します。この病気は、発見と同時に対策を取らなければならないほど急を要する病気です。

一番こわい病気で見つけたらすぐに対策を取ります。

<杉村・汐>

鶏の採血：羽根のうら(つけ根)から血を採ります。<杉村・汐>

20万羽が死んだとき  
3千人が働いた。<石原>

原因のウイルスは国外から飛んでくる鳥たちによってもたらされます。外国で人に感染した例があり、担当する人たちは必ず安全な防護服を身に着けています。

防疫体制が整っているため、感染した鶏肉・卵が売られることはありません。普通に食べても感染することはありません。

## エ、ミツバチの病気

### 腐そ病 (フソビョウ)：

細菌が原因して、幼虫が巣の中で腐って死んでしまう病気です。伝染性が強く巣箱が汚染されると養蜂場全体に伝染が広がってしまうことがあります。病気を早く発見して対策を取らねばなりません。

ミツバチにも病気があります。<石原>

家畜の主な病気を記しました。どれも伝染力が強く死んでしまう病気です。伝染性の病気を防ぐために「発生の予防」、「早期発見」、「迅速・的確な初動防疫」が必要とされています。

家畜保健衛生所は『家畜保健衛生所法』という法律に基づいて『家畜の病気を防ぎ、安心・安全な畜産物を生産するため、畜産農家に対する衛生指導や家畜の検査』を行っています。人と同じく家畜の伝染病にも「早期発見・早期診断・早期対策」により病気を撲滅する必要があります。

③ 仕事の部屋を見学しました。

1、 実験室：



「エライザ法」というやり方で、いろいろな物質が混ざり合っているサンプルの中から、検査したい物質の量を測定します。家畜の病原体などを調べています。



うーん。これは難しいな ??

## 2、 化学実験室：



家畜に投与された薬の「抗生物質」が体内に残っていないかの検査。

採血した血液を検査して病気を調べます。

糞便（フンベン）から寄生虫の卵を調べます。

顕微鏡で、血液中の赤血球、白血球を観察しました。

見えます！！

<高橋>

### 3、 検査室：



見てごらん。色が変わった  
ものが広がっているでしょ  
う。これが培養した細菌です。  
このようにして、  
病気の原因になる菌を検査し  
ているのですよ

家畜を病気にする「細菌」の検査をします。  
細菌は微小で目に見えないので、シャーレという  
容器の中で培養します。

うーん、なるほど、なるほど

と、驚いているようでした。

④ ミツバチ防護ネット



試しにネットの付いた帽子をかぶらせてもらいました。

ネットは胸までとどき、ひもでしっかり結びます。

これでミツバチは侵入できません。

ミツバチの箱には2万匹も入っています。検査のとき襲われ、刺されないようにネットの帽子をかぶります。これだと蜂の針はとどきません。

<高橋>

⑤ このように「湘南家畜保健衛生所」は、

牛やブタ、ニワトリ、ミツバチなどの家畜の病気の検査をしているところです。<杉村・汐>



畜産農家から電話があり調査・診断に行きます。採血された血液を検査室で検査します。

いろいろな検査道具を積んだ車で行きます

<石原>

畜産農家から帰った車は、細菌などが付いてはいけなないので、車輪だけでなく車全体を消毒します。

<杉村・汐>



消毒は、畜産農家から帰ってきた車だけではなくありません。



門を通るとすぐ、写真のような施設があります。

ここに来る車はかならず通り、車輪を消毒します。

1週間に2回、消毒液を交換します。

<石原>



足元のマットを踏んだしゅんかん、マットからピンク色の液体が出てきたのでビックリしました。この液体は「消毒液」と教えられました。

このマットや入口の車輪を消毒する意味は、この仕事が衛生的でないといけないからです。

<高橋>

## ⑥ 牛の品評会 (浅間緑地)

この日は「浅間緑地」で「第63回平塚市畜産共進会」という乳牛の品評会が行われていました。職員の方々が特別に私たちを案内してくださいました。



乳牛にも「美人」がいるそうです。

均整の取れた体型と牛乳の量が審査の基準です。

あそこにいる乳牛はどうですか？  
子牛や豚もいますよ。

乳牛を観察・スケッチしました。

目が丸くまつげが長い。  
ペロが長くよだれをたらしている。

<石原>



りょう耳の間に、もりあがったこぶがある。  
目は丸くまつげが長い。  
ペロが長く、よだれをたらした。  
しっぽが長く、ひもみたい。

<杉村・汐>



観察した牛は「ローブ」という名前です。耳に標識番号（マイナンバー？）をつけています。



ホルスタイン種

「もも」 9月4日生まれ。

「ひまわり」 9月22日生まれ。

9月生まれなのに大きな体で、もう歩けます。

⑦ 帰りの車の中で牛や豚について教わりました。

牛について：

反芻動物（ハンスウ）で胃が四つあり、それぞれ役割が違っている。胃に入った食べ物が、口にもどりよくかみなおす。だ液とまざる。いつもガムをかむようにしている。

いなわらを食べるのにだ液がないと食べられない。だ液は大切で、よだれをたらしているのはそのためだ。

1年に1頭の子供を産み、子どもを産まないとミルクが出ない。お乳は4つある。

治療や手術は立ったままやる。

豚について：

お乳は12～16個ある。子豚は決まったお乳からミルクを飲む。

1年に2回子供を産む。

ニワトリについて：

くちばしには歯が生えていない。筋胃（砂嚢サノウ）という胃で食べたものをすりつぶす。

<石原> <杉村・汐>

人は、かちくの命をもらって、牛肉にしたり豚肉にして食べている。

<杉村・日>

\* お忙しい中、細かなご説明をいただき、ありがとうございました。牛の品評会も見学できました。豆記者には少々難解な点もあったようですが、畜産農家に出向・指導そして検査・分析など、家畜の病気を仕事とされ、わたくしたちの食と密着していることがよく分かったと思います。（片山）